

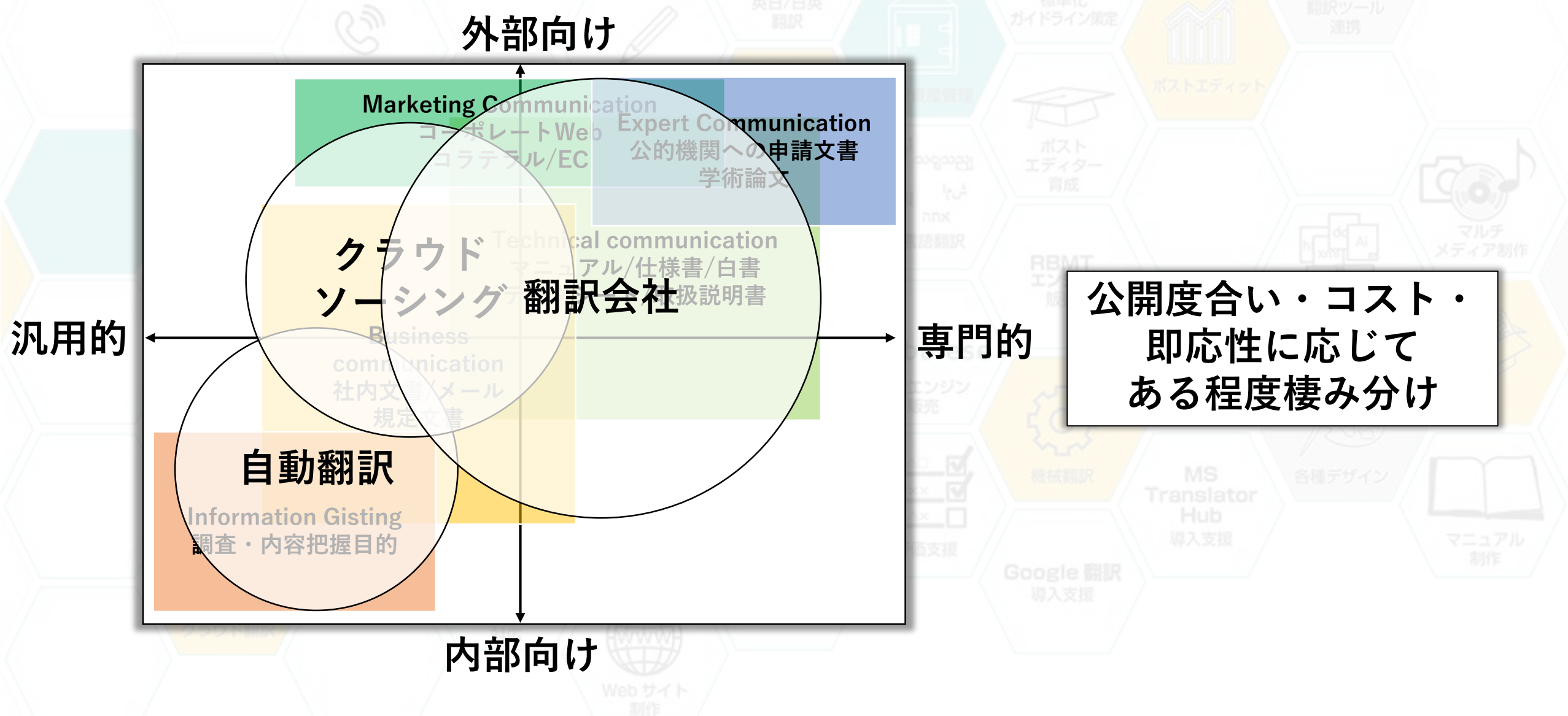


パネルディスカッション  
「AIとデータ」

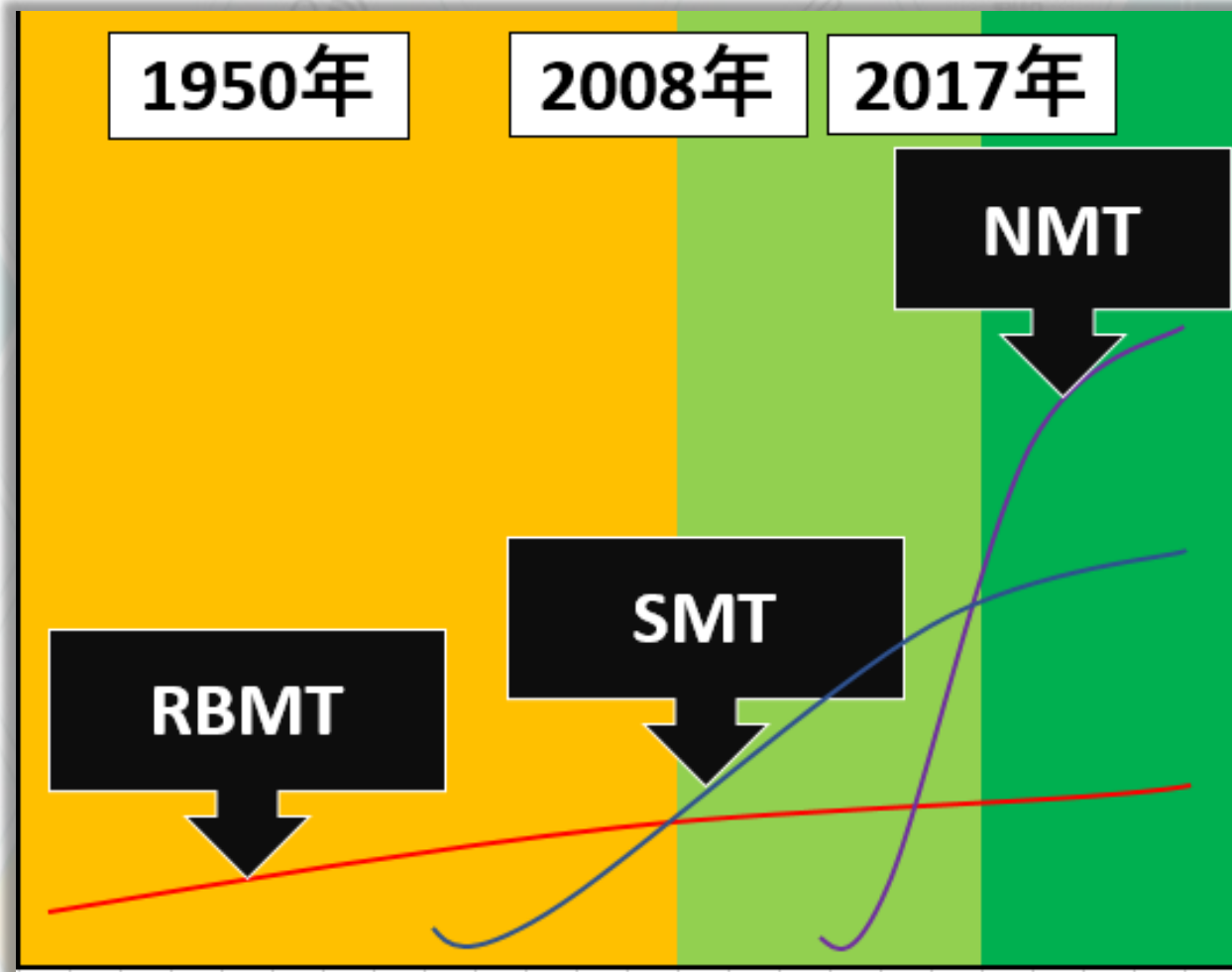
自動翻訳の  
ビジネス展開

株式会社川村インターナショナル  
常務取締役 森口功造

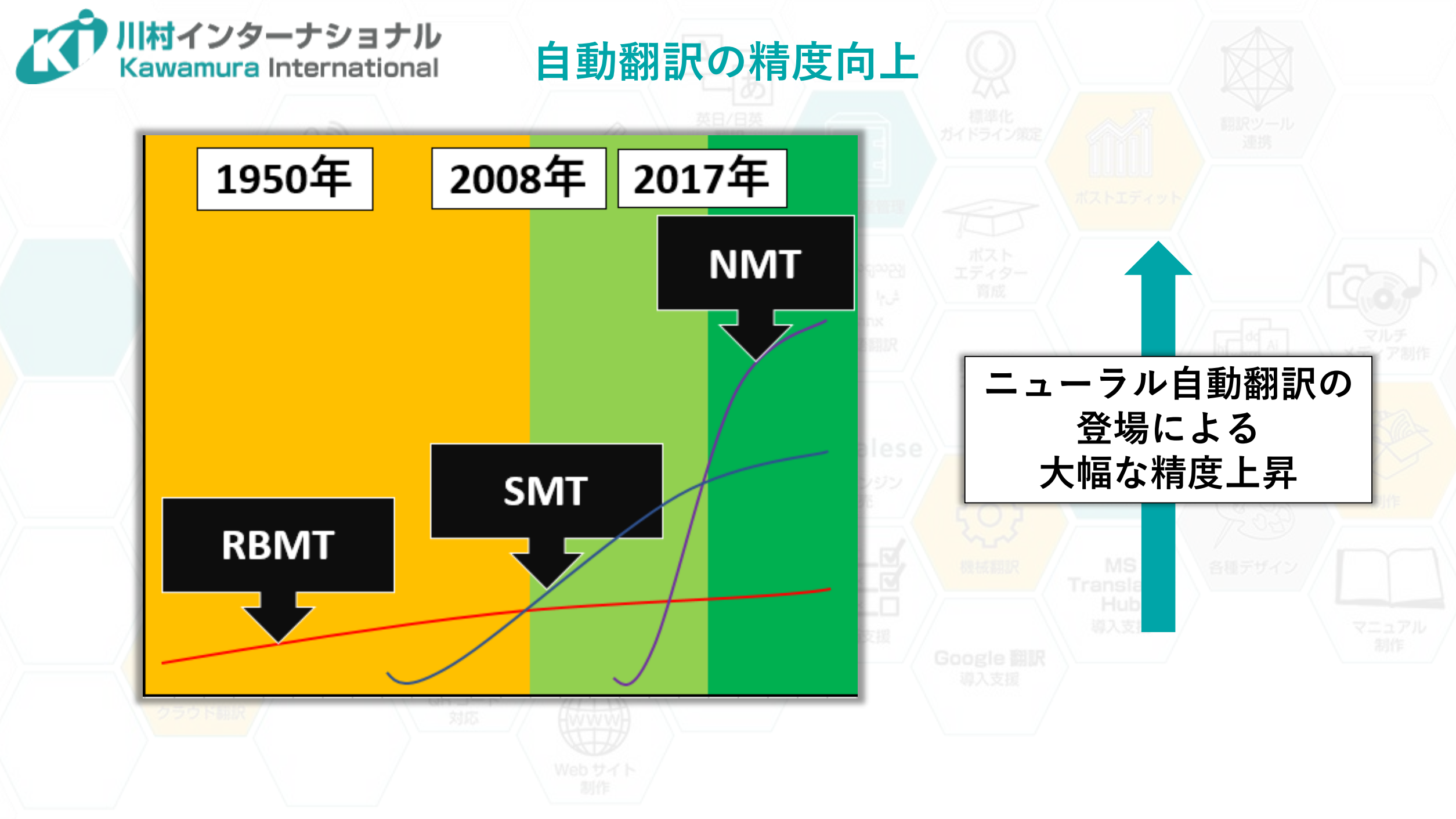
# 翻訳業界と主なプレイヤー



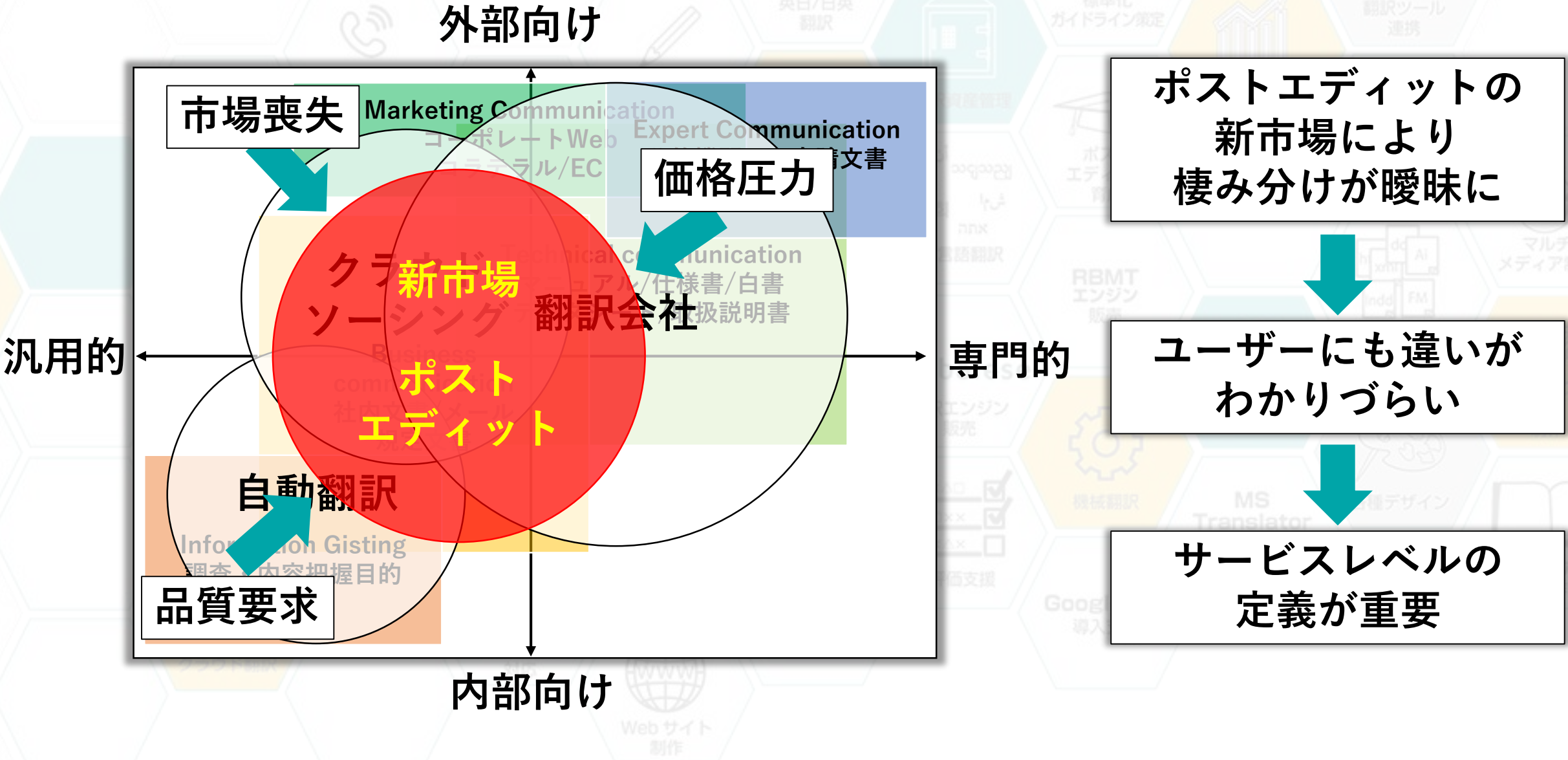
# 自動翻訳の精度向上

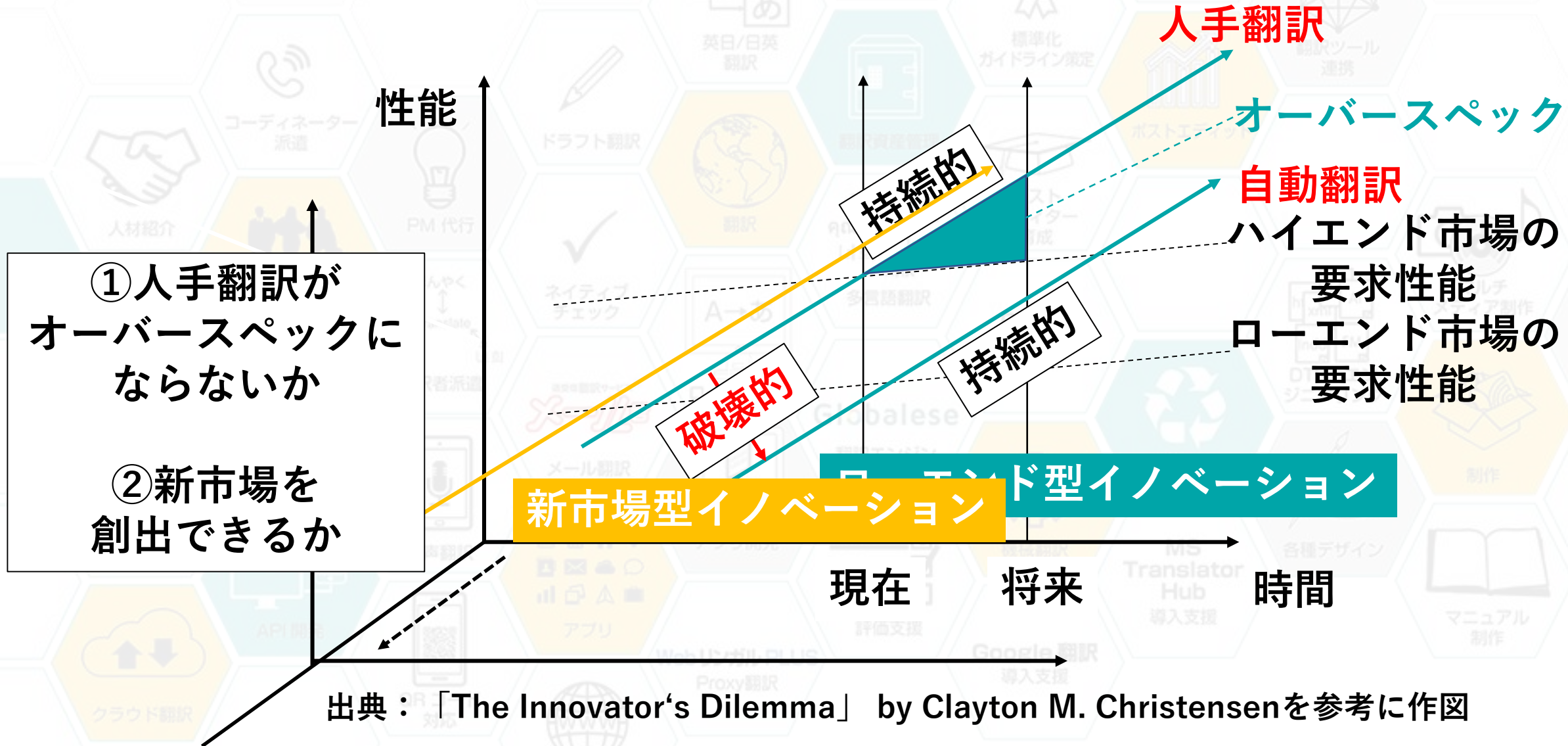


ニューラル自動翻訳の  
登場による  
大幅な精度上昇



# 翻訳業界とポストエディット





# MT 活用 - 戦略策定

<p>(強み/弱み) (外部環境)</p>	<p>Strength</p>	<p>Weaknesses</p>
<p>Opportunities</p>	<p>事業チャンスを創る</p>	<p>弱みを克服して 事業チャンスを創る</p>
<p>Threats</p>	<p>脅威を回避して 事業チャンスを創る</p>	<p>撤退/回避すべきだが・・・ イノベーションはどこから？</p>

# MT 活用 - 戦略策定

(強み/弱み)

(外部環境)

- ・ 翻訳処理スピード向上
- ・ 翻訳コスト低減
- ・ 精度向上

- ・ 情報漏えいリスク
- ・ 残留品質課題
- ・ 専門性の取扱い

- ・ 翻訳対象の増加
- ・ 技術的導入ハードルの低下
- ・ 市場マインドの変化
- ・ PEのプレイヤー不足

事業チャンスを創る

弱みを克服して  
事業チャンスを創る

- ・ 翻訳予算の制約
- ・ 参入障壁の低下
- ・ 情報資産ホルダーの優位性
- ・ 翻訳者のネガティブマインド
- ・ ポストエディター不足

脅威を回避して  
事業チャンスを創る

イノベーションは  
ここから？

# MT 活用 - 戦略策定

<p>(強み/弱み)</p> <p>(外部環境)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 翻訳処理スピード向上</li> <li>・ 翻訳コスト低減</li> <li>・ 精度向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報漏えいリスク</li> <li>・ 残留品質課題</li> <li>・ 専門性の取扱い</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 翻訳対象の増加</li> <li>・ 技術的導入ハードル低下</li> <li>・ 市場マインドの変化</li> <li>・ PEのプレイヤー不足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ PE市場へ参入</li> <li>・ シンプルな自動翻訳</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ セキュリティ面の懸念払拭</li> <li>・ ドメインアダプテーション</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 翻訳予算の制約</li> <li>・ 参入障壁の低下</li> <li>・ 情報資産ホルダーの優位性</li> <li>・ 翻訳者のネガティブマインド</li> <li>・ ポストエディター不足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 翻訳バンクの活用</li> <li>・ ポストエディター育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 構造化文書へNMT適用</li> <li>・ PE の自動化</li> </ul>



# 自動翻訳 + PE活用：キャズム（16%の壁）を超えた？ すでにメインストリームと考えるべきか

キャズム理論概念図

キャズム  
(深い溝)  
普及率16%の壁

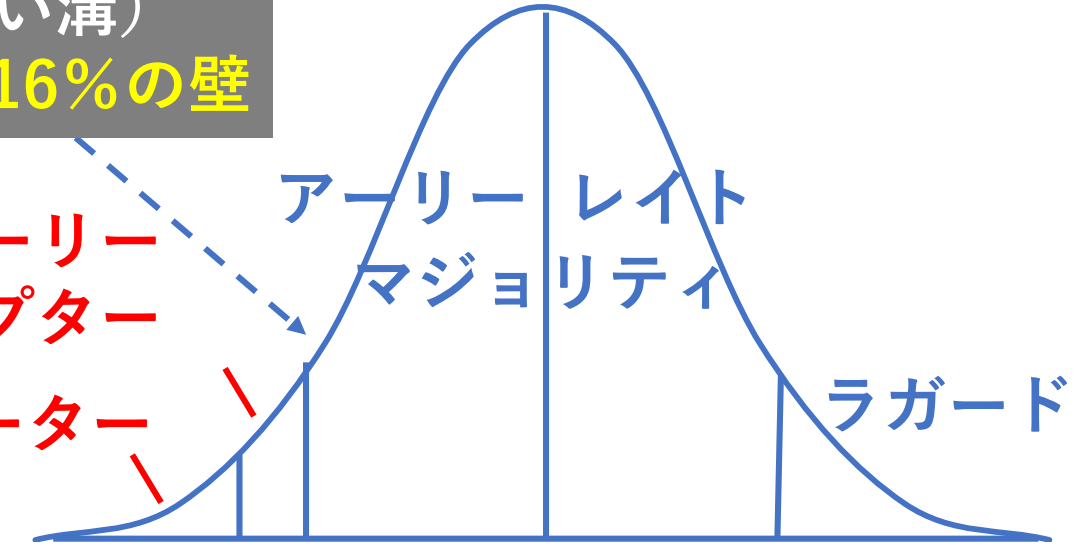
「使える！」という  
「体験」が重要

「安全さ」、  
「使いやすさ」にフォーカス

アーリー  
アダプター  
イノベーター

アーリー  
マジョリティ

レイト  
リタード



初期市場

メインストリーム市場

「最先端」

「安全・使いやすさ」

# 自動翻訳ビジネス 普及のヒント

キャズム：  
よくわからないものに対する不安・恐怖

「アクティブ」になる

「サービスレベル」を明確にする

「わかりやすく、安全に」提供する

「体験」を増やす

ありがとうございました。

